



UCIA ニュース

発行 宇治市国際交流協会

事務局 〒611-8501 宇治市宇治琵琶33 宇治市役所秘書広報課内
電話 0774-22-3141 (内線2058) FAX 20-8776
Eメール hishokohoka@city.uji.kyoto.jp

第 91 号
令和4年(2022年)1月

市民の国際理解を推進する活動をされている当協会の団体会員を紹介いたします。

小さな国際支援スマイル 代表 引場 壽子



ネパールのデブクマリさん (右から2人目)

今年も昨年と同様、相変わらず世界各国が新型コロナウイルスに振り回されております。

私達、宇治国際交流クラブは活動を廃止しましたが、これまで続けてきた「小さな国際支援スマイル」は宇治市国際交流協会 (UCIA) に団体登録をして、元クラブメンバーの基金で活動を継続しています。今後も UCIA のご協力をいただき微力ながら活動を続けていきたいと思っています。現在は4年前のネパール地震によって家や家財を無くしたデブクマリさんという少女の学費支援と、ネパールの少数民族の村チェパンの文化保護を支援させていただいてい

ます。そして、年間 40,000 円を立命館大学の橘先生のご指導の元、毎年送金および交流を続けています。

今後も宇治市国際交流協会の会員の皆様の温かいご支援をいただきたく、紙面をお借りして募金をお願いさせていただきたいと思っております。何卒よろしくお願いいたします。

連絡先：TEL.090-5972-4495 引場壽子

スペイン語とラテン文化を楽しむ会 (Decla) 田中 啓司

今秋で6年目となる宇治市スペイン語市民講座ですが、その初年度は意気込んだ分厚いテキストも8回の講座では半分もこなせませんでした。そこで、続きを自主講座でやろうと勉強会が始まったのが「スペイン語とラテン文化を楽しむ会 (Decla)」のきっかけです。翌年以降も市民講座の受講者の中から新しい参加者も加わり続いています。一昨年からは宇治市国際交流協会の登録団体になりました。毎秋の市民講座ではペルーから移住されているルイスさんとメキシコからの留学生イレーネさんを講師に、これまでにスペインから来たパン職人や、来日したイレーネのお母さん、宇治橋商店街にある Amatista Coffee オーナーでコーヒーの専門家で俳人でもあり空手道場も持つ日本通のコロンビア人ルイス・トロさんなど、多彩なゲストが参加してスペイン語圏の文化を紹介してくれました。帰国したイレーネに代わって昨年は Amatista の鈴木純江さん、今年はペルー人大学生

のクレイディさんが田中と共にアシスタント（補助講師）を引き受けてくれました。

Decla 自主講座には、そんな講師・ゲストの皆さんも加わり、旅行の体験談や、スペインやラテンアメリカ各国の食べ物やお酒や歌や映画の話、エイプリルフールは4月1日じゃないとか、死者の日などの風習、イスラムの国だったスペインの歴史や文化、最近では各国のコロナ状況など、テキストの進行は二の次のワイガヤ脱線教室。ゆめりあ教室での勉強会だけでなく、時にはメンバーのお宅でコロンビアコーヒーとスペインやメキシコ料理のコラボ会を開いたり、講師たちが南宇治中学のグローバルフェスタや宇治市の国際交流企画に参加したり、と多文化を生活の中で感じられるような試みへの参加もあります。「ゆめりあ」での教室は仕事で間に合わない人のための別講座も始まり、メキシコ



帰りのまりこさんが現地の様子や実践スペイン語を説明してくれています。

地球の反対側の、歴史も文化も全く違う国々の言葉を知ることでお互いの考え方や概念の違いに驚き、新鮮な発見があり、その社会の様子を理解することで文化も風習も違う人たちが身近になり友人になります。外国語を知ると同時に日本語と自分たちの暮らす日本社会についてもそれまでとは違う目で見えることもあります。自由参加のマイペースでスペイン語圏の文化を楽しむ会ですが、日常生活の中にあるこれも一つの国際交流かなと思ったりします。コロナ禍でも、宇治茶とコーヒーのコラボはワイガヤと進んでいきます。

※事務局では協会会員の皆様からの原稿を募集しています。団体または個人での研修や旅行記、体験手記など国際交流に関する内容であればテーマは問いません。掲載をご希望の方は郵送、email または FAX にて当協会事務局までお願いします。

絵画で友好を！！ 宇治市・咸陽市友好都市提携35周年友好交流展に

副会長 矢野 友次郎



咸陽市での友好交流展開幕式の様子

昭和61年（1986年）7月24日に宇治市と中国“咸陽市”との友好都市盟約が締結されてから今年で35周年になりました。

新型コロナウイルスの感染拡大で人の行き来が行われない時ですが、7月頃に咸陽市より、両都市友好記念に宇治市民の絵画等の展示会を咸陽市で10月に行いたい、という旨の申し出がありました。

宇治市のAFU（アート・フォーラム・宇

治）に協力をお願いしたところ茶摘み風景や宇治川、社寺・街角、宇治十帖がテーマの13点の作品を提供して

いただきました。

咸陽市では、その絵画が10月18日から27日まで清渭楼美術館で展示され、好評を博したようです。両都市友好35周年記念にふさわしい企画でありました。咸陽市の10月は、月の初めに日本のGW（ゴールデンウィーク）のような長期の休暇が有り、一年で一番気候が良い時期です。

宇治市でも12月13日から17日まで、市役所ロビーで35年の交流の歴史を振り返る『展示会』を開催しました。そこでは、咸陽市で展示を終えて戻ってきたAFUさんによる絵画と、それと一緒に送られてきた咸陽市民の書と絵画を併せて28点の作品が展示され、両市の友好の絆がさらに強く結ばれることとなりました。

コロナ禍で人的な交流が出来ない今日、絵画が取り持つ友好でありました。



宇治市での友好交流展の様子

日本語教室報告



2021年7月、念願の宇治市国際交流協会の日本語教室を立ち上げることができました。2020年度の日本語支援ボランティア養成講座で、日本語の教授法を勉強された方3名と、今まで宇治国際交流クラブの日本語教室で何年も日本語を教えてこられた6名のボランティアスタッフがこの教室の立ち上げメンバーです。しかし当時は、コロナ禍の緊急事態宣言中。やっと10月21日に解除され、申し込んでいただいていた外国人4名と対面で日本語勉強を始めることが

できました。コロンビアのルイスさん、フィリピンのアントニオさん、インドのキランさん、韓国のスーナムさんです。1時間半、1対1、対面での勉強。準備万端、熱がこもった授業となりました。先生達のエネルギーが学習者にも伝わるのか、力が入った勉強となっています。

環境は、密を避け、消毒、検温、換気、シールド使用、マスク着用と万全体制です。まだ始まったばかりですし、今までのようにどんどん外国人の申込みがあるわけではないのです。そして今年度の「日本語ボランティア養成講座」で勉強した新しい先生達も参加の予定です。コロナが収束してきましたら外国の方々も増えてくると思います。コロナと言えば、新しいオミクロン株が出てきています。また緊急事態宣言があるかもしれません。

きっと人間の頭脳と努力で安心な時が来ると信じて、これからも頑張っ、続けていこうと思います。どうぞお知り合いの外国人がおられましたら、このクラスをご紹介します。ご報告まで。（H・K）



当協会は、今年度も
「宇治まなびんぐフェスタ」に出展いたします。

「宇治まなびんぐフェスタ 2022」

開催日時：2022年2月19日(土) 13:00～15:00
会場：宇治市生涯学習センター 第2ホール

当協会は今年度、

「コロンビアコーヒーを通して、世界のフェアトレードについて学ぶ」

「ベトナムについて知る」のワークショップを開催します。

コロンビアのコーナーは宇治橋通りのコーヒー豆店「Amatista」のルイスさんからのフェアトレードについての資料展示と美味しいコーヒーの淹れ方の実演を行っていただき、「ベトナムについて」は技能実習生として在住されているベトナムの方々に資料を展示・説明・紹介していただきます。

「宇治まなびんぐ」は市民まなびの集いとして日常取り組んでいる生涯学習活動を、子どもから大人まで多くの人に向けて発表し、出展者・来場者の交流の輪を広げていただく場として開催されています。

上記の内容で実施予定ですので、みなさんふるってご参加ください。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては同フェスタが中止となる可能性があります。

雑観雑感

私が所属している会では、日本で学ぶ外国留学生に奨学金を支給し、お世話する地域の単会と担当カウンセラーを設け、今年で60年を迎えました。そんな中、今年6月24日の日経新聞「交遊抄」で京都精華大学の学長を務めるウスビ・サコさんの寄稿が掲載されました。タイトルは「低姿勢な父」。父とは、ウスビ・サコさんの奨学生時代のカウンセラーのことです。「お金をもらいにクラブに行くと“世話人”なる男性が現れた。家まで送ると言い、車の後部座席のドアを開けてくれる。この奨学金は運転手までつくのかと感心した」。後に日本人女性と結婚する際も、会員が実父かのように口添えしてくれたエピソードを経て、「マリでは企業の重役は車の後部座席のドアを開けたりはしない、でも院生の私にそうしてくれた。私も今では学長という職にあるが、誰に対しても低姿勢でフラットに接したい」という文で結ばれています。サコさんのように、多くの奨学生はカウンセラーやお世話会の振る舞いから学びます。コロナ禍が落ち着き、この事業の真髄である交流が各地で再開されることを願わずにはられません。(H・N)

90号訂正とお詫び

UCIA ニュース 90号「令和2年度事業報告・決算及び令和3年度事業計画・予算並びに新役員の皆様」にて誤りがございました。

今川博氏(役職：個人理事)、城島健治氏(役職：個人理事)の追記をお願いいたします。

ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。